No.184

めろん

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	祝！みのお医療サポートネット　20 周年	…… 1	報告	秋のボランティアセミナー	…… 5
報告	モレロス大学との交流 30 周年記念式典	…… 3	カレンダー	2023 年 1 月の comm cafe ランチカレンダー	…… 7
報告	せいなんにほんご NOW	…… 4	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	…… 8

祝！みのお医療サポートネット 20 周年

みのお医療サポートネット 20 周年の会が 11 月 19 日に comm cafe（多文化交流センター）で行なわれた。みのお医療サポートネット（以下、医療ネット）とは、外国人市民の医療通訳を行うボランティア団体だ。発足のきっかけは、1999 年に起こった痛ましい事件。地域で愛される国立民族学博物館に勤めていたインドネシア人研究者が、救急車を呼んだものの、日本語がわからないために入院を拒否され、亡くなったのだ。この出来事にショックを受けた市民が集まり、医療通訳ボランティアを起ち上げたのが始まりだ。

現在の会員数は約 30 人で、外国人市民からの依頼を受け、病院へ同行しての通訳や、医療文書の翻訳などを行なっている。これまでに通訳を行なった言語は英語、中国語をはじめとする 12 言語。近年はタイ語とベトナム語の需要が増加している。

○ 20 周年に関係者が集う

この医療ネットが今年、発足 20 周年を迎えた。記念の会が開かれた comm cafe には、箕面市長、箕面市立病院長、箕面市医師会会長を始めとする来賓の方々や、医療ネット設立時のメンバー、現在活動中のボランティア、メディア関係者などが参加し、会場は満席となった。

はじめに視聴した医療ネットの活動紹介ビデオの中で、通訳ボランティアは「依頼者さんは病院の待合室にいるとき、ずーっと話してはる。私は大阪のおばちゃん的な発想で、話し相手になっている。」と語っていた。

続く来賓からの祝辞で、箕面市医師会会長の中祐次さんは「私自身、ガーナから来て日本語がほとんど話せない人を診療した。その人は、始めは顔がこわばっていたものの、通訳を介すとほころんでいった。」と述べた。また医療ネット前代表の金星令さんは、設立当時を振り返り、「メンバー 5、6 人がぞろぞろ並んで医師会に行った。追い返されると思っていたが、医師会が年 10 万の寄付金を約束してくれたので、皆ビックリした。」とのエピソードを紹介した。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）
〒 562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内
Tel：072-727-6912　Fax：072-727-6920　E-mail：info@mafga.or.jp　HP：www.mafga.or.jp
賛助会員数：295 名　法人会員数：26 団体（2022 年 12 月 15 現在）

○ 医療ネットが抱える課題

過去５年の言語別件数

	2017	2018	2019	2020	2021
英語	102	175	145	99	136
韓国・朝鮮語	2	1	0	1	0
ロシア語	0	3	0	1	0
中国語	105	66	46	34	22
スペイン語	0	0	1	0	0
ポルトガル語	4	5	2	0	0
ネパール語	0	0	3	1	5
フランス語	0	0	30	1	0
タイ語	4	2	0	8	27
ベトナム語	1	7	25	13	46
アラビア語	0	2	0	0	0
ヒンディー語	0	0	0	1	0
合計	218	261	252	158	237

特に、ボランティアの人数不足、コロナ禍での財政ひっ迫が深刻だ。会発足時の 20 年前、箕面市の外国人市民は約 1700 人であったが、今は 87 カ国から 2950 人（2022 年 11 月末現在）と大幅に増えている。にもかかわらず、実際に動ける通訳ボランティアは現在 30 名足らずと、需要に追いついていない。

箕面市立病院には英語通訳が常駐していたが、2020 年 3 月からは新型コロナウイルスの感染拡大により、常駐は停止し、ボランティアの同行通訳が 2 ヶ月間も休止した。通訳同行は再開したが、市立病院の常駐活動は停止したままだ。

コロナ禍では、同行者への支給が 1,500 円に減額され、加えて言語によっては通訳派遣を停止するなど新たな課題が生まれている。医療ネット事務局長の中本剛二さんからは、こうした今の医療ネットが抱えている課題とともに、箕面市周辺の自治体にも自分たちの活動を知ってもらうように働きかけていることが報告され、財政的な課題を解決していくために寄付や支援を集めていきたいとの呼びかけがなされた。

会の後に、現役の通訳ボランティアに話を聞いた。

Q1. 外国の方と接するとき一番難しい点は何か。

A1. 私の場合は、依頼者が女性で、産婦人科の外来受診であれば、自分にも知識があるため、安心感がある。それ以外の診療科、または依頼主が男性で、しかも事前に十分な情報がないときは緊張する。

Q2. 普段の活動でやってよかったことは何か。

A2. 病院での医療通訳の他にも、生活の面で相談されることが多い。近所の知り合いという感じでいろいろ日本での生活について教えることにやりがいがある。

Q3. ボランティアをする中での要望はあるか。

A3. 中々人が集まらず、医療の専門知識を持つ人も少ない。また、今後の持続可能な活動のために、行政も一緒になって例えば資金面をサポートするなど、システムを作っていってほしいと思う。

○ 近くに阪大外国語学部があるのに…。

筆者は阪大の外国語学部で、アラビア語を学んでいる。そう話すと、ボランティアの方たちから「アラビア語、すごく大事！ぜひボランティアに来て！」と熱烈な勧誘を受けた。外国語学部には、ベトナム語やタイ語をはじめとして、日本語を含む 25 カ国の専攻語がある。キャンパスが近くに移転した

箕面山聖天宮西江寺
役行者により６５８年飛鳥時代に開山。日本最初の歓喜天霊場。
大聖歓喜天は象頭人身のインドの神様ガネーシャが起源とされる。

写経・阿字観瞑想・
お茶室体験・ヨーガ
など開催中
〒562-0001
大阪府箕面市箕面2 丁目5-27
072-721-3190
阪急箕面駅より北へ徒歩約10分

ことだし、外国語学部の学生に呼びかければよいのでは…？ しかし、医療通訳は大きな責任を伴うため、言語がある程度わかるだけで学生に呼びかけるのは、課題が多いように思う。

それでも、学生に医療ネットの存在を知らせることで、将来、つながりを持つ人が増えるかもしれない。筆者の周りには、各専攻語の国へ長期留学し、かなりのレベルで外国語を話せる友人は少なくない。3 年生後半の今は就職活動などに追われる人が多いが、それでも呼びかける価値はあるはずだ。まずはクラスメイトや身近な教授に、医療ネットについて話をしてみたい。（西岡）

モレロス大学生との交流 30 周年記念式典

11 月 25 日の朝、箕面市の国際友好都市であるメキシコ・クエルナバカ市にあるモレロス州立自治大学箕面研修生の受入 30 周年を祝う記念式典が、両市の会場をオンラインで繋いで開催された。

研修生が受け入れ家庭にホームステイしながら、約 1 か月間日本語教育や文化体験、市民との交流事業を行うもので、コロナの影響で 2020 年からは受け入れを休止しているが、これまでに研修を終えた学生は 180 名を超える。

箕面市側は、上島一彦箕面市長、木村貞基箕面メキシコ友の会会長、前田一成協会理事長ら 7 名が出席。大学側からは、同大学のグスタボ・ウルキザ・ベルトラン学長、元研修生たちで組織される「メキシコ箕面クラブ」のイスラエル・サンチェス・ロヘール会長、クエルナバカ市のホセ・ルイス・ウリオステギ・サルガド市長が出席した。

式典冒頭では 30 周年を祝う挨拶や、これまでの歴史を振り返る動画の上映が行われ、引き続いて文化交流として、両国の伝統的なパフォーマンスの披露が行われた。箕面市からは箕面市三曲協会の演奏や民舞グループ「胡蝶」の舞踊が披露され、モレロス大学側からは舞踊グループ「ソル･ナシエンテ」やマリンバ､マリアッチの演奏が行われ、両会場を大いに盛り上げた。

クエルナバカ市との時差は 15 時間で、リハーサルは大変だったそうだが、当日は接続トラブルもなく、乾杯やプレゼント交換（箕面市側からはサントリー・サンバーズのユニフォーム、吹田市に拠点を置くガンバ大阪のユニフォームともみじの天ぷらが、開始の 1 時間前に絶妙なタイミングで会場に届いたとのこと！）も行われた。

言語は日本語とスペイン語のバイリンガルで進められ、30 年間の交流をまとめた動画は、この交流の歴史の長さと両者の関係の深さがよく分かった。

当日の様子は右記の QR コードより動画視聴できるので、よろしければご覧ください。（岩城）

『わかる』だけでは物足りない！『わかった』だけでは成績は上がらない！『できる』ように数林は教えます！
学校レベル別個別指導のびっくり効果！
見逃さないで！！
学校教材を使ってもらえるからわかりやすい！
受験よろず相談承ります！！
成績や進路のお悩み、成績を上げる学習ポイントなど、塾長がオンラインで御相談に応じます。(事前予約制・無料)
中1〜高1
成績を上げる！ 在籍校別 個別指導 1:2
週1回の通塾でOK！（80分 ×2コマ）
学校の少し先を先取り学習します。
質問取りではない、丁寧な講義と演習みっちり !!
高2・高3
大学受験対策 個別指導 1:2
志望大学を攻略する数学力をつける 一人ひとりにあわせた内容で、志望大学合格レベルに数学力を引き上げます。
基礎復習から共通テスト対策も万全 実践力を鍛え上げ共通テスト 200 点獲得へ最短距離で導きます。
受験数学専門塾
数林
←ホームページ
豊中市本町 1 丁目 2-53 高山第3ビル5F
TEL 06-6852-1925
https://www.suurin.com
mail@suurin.com

せいなんにほんご NOW

西南生涯学習センターで日本語教室が開講されたのは 2020 年 9 月。多文化交流センターや「らいとぴあ 21」での教室以外にも学習者が通いやすいよう、市全体を網羅すべく東生涯学習センターでの「ひがしにほんご」と同時にスタートした。11 月 2 日、学習者、ボランティアともに参加者数が増えたという「せいなんにほんご」の現在を取材した。

授業は毎週水曜日の午後 7 時から 8 時半まで。少し前から大会議室にボランティアや学習者たちが集まり始める。人が増えるたび、あちらこちらで言葉が飛び交い、笑いがさんざめく。ここが学びだけではなく、リラックスできる交流の場なのだとわかる。ボランティアが新人を含め 10 名、登録している学習者が 28 名。初心者から日本語検定一級をめざす人までレベルはさまざまで、日によってそれぞれの参加者数が変わるので、学習者の方が多い時にはマッチングが大変らしい。

日本語教育アドバイザーとして活躍するのが、大学院生の篠田百杏さん。彼女がこの難しいマッチングを担い、教室の取りまとめも行う。「民間の日本語教室で非常勤講師をしていましたが、大学の掲示板を見てここを知り、地域の人々の力になりたいと思って応募しました。『レジ袋いりません』という、日本語を覚えていれば、スーパーで使える。それは生活者として大事なこと」。

教材は種々用意されており、読みたい本や資料の持ち込みも可能。日本滞在期間が七年半になる南スーダン出身の学習者は、「会社では英語も使うし、日本語を話すのはなんとかなるが、漢字が難しい」と、この日は小学一年生向けの教本を使っていた。一方、来日したばかりで市内の小中学校に勤務する ALT（外国語指導助手）は、「漢字はひとりで勉強できるが、やはり話すのが大変。この先生たちは優しいので、（拙くとも臆せず　注：山下）話ができて嬉しいし、教室はとても useful（役立っている）」という。人により、学びたいポイントは違うのだ。

グループコーディネーターの三木晴美さんは、「人間関係の構築、そして学習者の意向を知るのが大事。例えば、雨の日など今日は行こうか迷ったけれどがんばって参加したら、『やっぱり来てよかった！』と学習者に満足感、充実感を持ってもらえるのがボランティアとしてやりがいを感じるし、めざすところです」という。

各テーブルではボランティアがボードを使ったり、学習者の話にじっくり耳を傾けたり。「留学生、実習生、就労者やその家族たち。働くだけで精一杯の人や、この教室と繋がれる環境でない人たちがいる。一人でも多くの人にこの場のことを知ってほしいし、仲間になってほしい」と協会の担当者である炭野洋子さんはいう。この切実な願いは、ボランティアの皆も共有しているに違いない。さまざまな人の希望や熱意が重なり、響き合う。日本語や互いの文化をともに学び、伴走者でありたいという人たちには、ぜひこの輪に加わっていただきたい。（山下）

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科
おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00～12:00	○	○	○	／	○	○
pm1:00～3:00（胃カメラ）	□	□	□	／	□	／
pm5:00～7:30	○	／	○	／	○	／

※診療開始 30 分前から受付します。
■胃カメラは予約制です。
■休診日：火・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/
【住所】562-0023
箕面市粟生間谷西3丁目7−9 シャトー野間1F
阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い
Ⓟ無料駐車場 有
TEL 072−730−0721

fairtrade shop & cafe
エスペーロ能勢
espero nose
フェアトレード雑貨と古民家カフェ
豊能郡能勢町地黄 476
営業時間：金～月 11:00 ～ 17:00
http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話　072-727-6912
（日本語・英語）
メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。
日時：火曜日から日曜日　9:00~17:00
受付方法：来館、メール、電話
対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語
場所：箕面市立多文化交流センター

［報告］2022 年秋のボランティアセミナー：1 日目 （10 月 15 日）
多文化な子どもの力を育む～母語教室から見えるもの～

母語に絡む言葉の問題をいろいろ考えさせられるセミナーであった。

今の時代は仕事、留学、結婚など様々な事由で、人が世界あちこちに移住する時代。移住する子らは、親が国際結婚だと親の母語は二つあり、そして移住先では現地語に曝される。

本日のコメンテーター矢元貴美さん（大阪大学大学院人文学研究科講師）によると、母語とは人が最初に覚えた言葉で、且つよく使い、自分を一番よく表現できる言葉であるという。もう一つ継承語と言う言葉がある。これも同じく人が最初に覚えた言葉であるが、主に家庭で使われる言葉である。母語と現地語が異なる場合、子どもは先ず親の母語を覚えることが多いが、周囲の環境のなかで現地語にも馴染んでいく。学校教育などを現地語で受ける場合には、現地語が優位となり、成長するにしたがって親と子どもの間でのコミュニケーションに課題が生じる場合も多い。このセミナーでは、複雑な言語環境の中で暮らす外国ルーツの子らの母語・継承語教育について考えた。

ユネスコは国際母語デー（2 月 21 日）を定めているが、ここでは母語は民族の言葉と言う意味。母語と言う言葉に民族の文化、民族の存在そのものを象徴させている。国際母語デーは、多様な民族が共生していく上で、少数民族の母語も含め、国内のあらゆる母語が尊重されねばならない、母語に上下はないと訴えている。

母語教育にも色々な手段がある。まずは家庭内での親による教育。お金がかかるが､民間の語学学校、民族系の学校でも学べる。ICT 利用の語学学習ソフトでも勉強できる。一方でそのための時間やお金がない場合も多い。そういう中で、地域での母語教室とはどんなものか。このセミナーで紹介された箕面の母語教室を見てみよう。

■　ポルトガル語・スペイン語の母語クラブ Chat³

紹介したのは大野友アンドレイアさん。まず Chat³ はチャチャチャと読む。「Chat にはおしゃべりと言う意味に加えて、ダンス、そして楽しそうな響きがあり、子どもたちが行きたくなる名前として選んだ」という。彼女はブラジル出身であるが、日本、カナダ、米国などで暮らした経験を持つ。今は当協会の職員。ただこの活動には一市民として関わっている。日本で生まれ育ったブラジルの子どもらが日本語の不得意な親とのコミュニケーションに困っていると知り、彼らのための母語学習の場を作ることを考えた。

その際、ブラジルの母語に限定せず、ポルトガル語、スペイン語と言う二つの言語の母語クラブにした。従って、この二つの言葉をしゃべるいろいろな国の人達が集まっている。スタートは 2017 年。コロナ禍の際はオンライン会合にして続けた。集まってきた両言語の話者は約 100 名（8 か国）いるが、毎回の集まりにはその約半数が参加しており、さらにその半数が子ども。交流の中で子どもたちは自分の家族以外にポルトガル語、スペイン語で話す人たちと出会い、彼等の色々な国の文化に触れる。アンドレイアさんは、こういう場を通じて子どもたちが自分らしさを大切にすることを学び、周りにあわせて「Yes」を言うだけでなく、自分に自信をもって「No」と言える人間力も身に着けて欲しい、と願う。

■　親子で学ぶ子ども韓国語教室

紹介したのは洪美羅（ほんみら）さんと李鉉淑（いひょんすく）さんの二人。洪さんは 1995 年に結婚で韓国から来日。当協会で日本語を勉強し、保育等のボランティア活動をしてきた。今は多言語情報誌「みのおポスト」のメンバー。2007 年に韓国人のコミュニティ「アウリ」を結成。このアウリメンバーとともに、2012 年から読み書きも含む子ども韓国語教室を始めた。

李さんは韓国から日本に留学後、日本語と韓国語の教師として活躍してきた。結婚を機に 2013 年から箕面市に住み、茨木市にあるコリア国際学園でも教えた。2019 年から息子とともに、子ども韓国語教室に参加している。この教室では、親子で参加が原則で子どもが大きくなると親子共に教室

から去るのでメンバーは入れ変わっていく。今は李さんたちが中心。韓国語の勉強だけでなく、ゲームやダンスを通して交流したり、伝統工芸作品を通して歴史や生活にふれる、「日本で暮らしている私たちに韓国語は必要かな？」といったテーマでの対話など、子どもたち自身の学びの場になるようにいろいろな工夫をしている。李さんは、言語学習としては時間は十分ではないが、それでもこの教室で子らのアイデンティティの変化、成長、そして自己開示する自信の獲得が認められる、この教室はそれらを共に支える場でありたい、と語る。

箕面市には数十ヶ国の外国ルーツの子らが住んでおり、私たちが知らないところでこの二つ以外にも母語教室があるかもしれない。また、親が教えたり、語学ソフトなど各家庭で学んでいる場合もあるだろう。二つの母語教室は、語学学校などと異なり、手作り感一杯の楽しいコミュニティを形成しており、子らにとっては、言葉だけでなく、様々な事を学ぶ場である。なにより、各家庭のなかだけで学ぶのとは異なり、同じ言葉を話す大人や子どもがつながり、仲間ができるという存在意義がある。

■　矢元さんのコメント

最後にコメンテーターの矢元さん（写真右）の話があった。矢元さんは、ある大阪府立高校で単位が認定される授業として行われているフィリピン語教室の事例を紹介した。この教室でも、言葉の勉強だけでなく、話合い、ダンス、料理なども楽しむ。フィリピンでは国語としてフィリピン語、公用語として英語が用いられており、更に地方言語もある。授業を受ける生徒の多くは親、親戚と話せるようになりたいという動機で学んでいるが、例えば国語より地方言語を教えるべきか、と言う課題がある。またそれぞれの保護者や生徒によって、フィリピン語よりも英語の学習を希望するなど、意欲や希望の差もある。答えのない課題を抱えながらも、この教室を通して親子間のコミュニケーションが改善されたり、仲間ができたり、また生徒たちの視野が広くなったりと言う効果が出ているという。

母語・継承語の学習には、一つには親子のコミュニケーション改善につながるという事があるが、さらに重要な事は、それが、子らのアイデンティティの形成に深くかかわる点にある。外国ルーツの子らが自己肯定感を持って成長するには、彼らの言語や文化が尊重される経験や社会の側が「それが大切である」というメッセージを届けることが大切だ。大事なことは、家庭、学校、社会が母語・継承語の学習に関心を持ち、子らを励まし、支えることだ、と矢元さんは語った。

二つの母語教室は保護者たちが母語・継承語学習を支援している事例である。これ以外の日本では話す人が少ない母語の場合、子らは一人で親から学ぶか語学ソフトで学ぶなど機会がさらに少なくなる。こういう子らを地域社会が励まし、互いに仲間を作れるように支援できないものか。今後の課題の一つと思う。（荻野）

公益財団法人箕面市国際交流協会
創立 30 周年記念式典＆シンポジウム
2/23（木・祝）13:30～

箕面市立文化芸能劇場・大ホール

第一部：記念式典
来賓挨拶、感謝状授与

第二部：
協会の取り組みを映像にした
記念ドキュメンタリー（2022 年・45 分）の上映

シンポジウム
「今、あらためて地域の国際化を問い直す」

小島祥美（東京外国語大学多言語多文化共生センター長）
ジャヘドザデ・ベヘナム（大阪大学外国語学部准教授）
高橋太朗（箕面市教育委員 / 日本ペトロ株式会社代表取締役）
田中ニーナ（映像コンテンツプランナー / フォトグラファー）
増田麻美子（文化庁国語課　日本語教育調査官）

1月 January　comm cafe ランチカレンダー

comm cafe コム カフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**
11:30 - 14:00 **ランチタイム** * 売り切れ次第終了します
- フルメニュー　￥950

14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 * ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ￥660（ドリンク付）

おしらせ

イートイン 再開しています！

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、
マスク会食にご協力ください。

2022 年 4 月から、毎週水曜日は店休日となっています。現在、新しい活用方法を検討中ですので、しばらくお待ちください。

ス… スナック & スウィーツの日　イ … カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
2 **12/29-1/3 は全館閉館**	3	4 店休日	5 ス MAFGA スナック	6 ス MAFGA スナック	7 ルーパさん ≪インド≫ イ 15:00 ～ 16:30 南スーダンの今　国交なき医師団	8 世界の朝ごはん ≪トルコ≫ 10:00 ～ 13:00
9 [祝] ス MAFGA スナック	10 ノックさん ≪タイ≫	11 店休日	12 アスィエさん ≪イラン≫	13 ルーパさん ≪インド≫	14 協会主催事業のためランチはお休みです。	15 世界の朝ごはん ≪イラン≫ 10:00 ～ 13:00
16 休館日	17 ジェニーさん ≪アルメニア / シリア≫	18 店休日	19 フランクリンさん ≪キューバ≫	20 洪さん ≪コリア≫	21 協会主催事業のためランチはお休みです。 イ 10:00 ～ 14:00 テト：ベトナムのお正月	22 世界の朝ごはん ≪ベラルーシ≫ 10:00 ～ 13:00
23 休館日	24 チーム・シカモ ≪多国籍≫	25 店休日	26 山口さん ≪中国≫	27 フランクリンさん ≪キューバ≫	28 協会主催事業のためランチはお休みです。 イ 10:00 ～ 16:30 フォーラムシアター	29 世界の朝ごはん ≪ベトナム≫ 10:00 ～ 13:00
30 休館日	31 ホーさん ≪香港≫		**2023 年も、comm cafe をどうぞよろしくお願いします！**			

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe

国際交流協会（MAFGA）からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは（公財）箕面市国際交流協会まで　※開催場所：箕面市立多文化交流センター
☎：072-727-6912　FAX：072-727-6920　✉：info@mafga.or.jp

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

イベント情報

定例イベント

子ども食堂　1/14(土) 11:45-12:55

comm cafe クラファン企画　多文化子ども食堂

シェフがおいしい食事と楽しいゲームを、外国ルーツの子どもたちとその家族や友人に提供します。今回はインド・ベジタリアン料理。
◎ルーパ（コムカフェシェフ）

対象　：外国ルーツの子どもとその保護者
定員　：25 名（要申込）
場所　：comm cafe
参加費：子ども　100 円
　　大人　300 円

セミナー　1/25（水）①10:30～ ②13:30～

キューズモール× comm cafe 食でつながる、このひと、この世界

タイの食文化の魅力を伝える。
◎ノック（タイ出身）　コーディネーター：崔聖子

定員　：各５名（要申込）
場所　：みのおキューズモール Center2F キューズリビング
参加費：無料

セミナー　1/7(土) 15:00-16:30

知ることで変わる未来～南スーダンの今～

国境なき医師団の手術看護師として 11 月まで南スーダンに赴任していた、佐藤真史さんを迎えての活動報告会。
◎佐藤真史（国境なき医師団・看護師）

対象　：どなたでも
定員　：20 名
場所　：comm cafe
参加費：一般　550 円
※賛助会員・大学生以下　無料

イベント　1/21(土) 10:00-14:00

ベトナムのお正月をお祝いしよう

ベトナムのお正月テトをお祝いします。お正月料理の提供、テトの紹介、ベトナムの音楽演奏あり。テトには欠かせないちまき作りワークショップ（10 ～ 11 時、定員 15 名、参加費と別に費用 500 円）あり。

対象　：どなたでも
定員　：40 名
場所　：comm cafe
参加費：2,000 円
※学生・実習生　1,500 円

イベント　1/28（土）①9:30-12:30 ②13:30-16:30

フォーラムシアター 2022　日常の中の多様性

演劇型ワークショップの中で生み出される対話から問題解決を探るプログラム。　◎内山唯日（多様性教育ファシリテーター・日本語講師）
①　寸劇の台本作り②　寸劇披露・鑑賞、意見交換と実践

定員　：①５名、②10 名（要申込）
場所　：２F　講座室
参加費：賛助会員・学生　無料
　　それ以外　3,000 円
＊詳しくは協会 HP を参照

年末年始の閉館について

■ 箕面市立多文化交流センター
■ 小野原図書館
■ comm cafe

…　**12/29(水)～1/3(月) は閉館します。**

事業名	年末最終日	年始開始日
日本語教室 ささゆり（初級読み書き）	12/13(火)	1/10(火)
日本語教室 せいなんにほんご	12/21(水)	1/11(水)
日本語教室 あかね（初級会話）	12/15(木)	1/12(木)
日本語教室 ひまわり	12/16(金)	1/6(金)
日本語教室 萱野にほんご	12/16(金)	1/13(金)
日本語教室 T.E.S. 日本語	12/17(土)	1/7(土)
日本語教室 ひがしにほんご	12/18(日)	1/15(日)
事業も子ども さぽると	12/17(土)	1/14(土)
事業も子ども こどももっと	12/17(土)	1/14(土)
多言語相談 韓国･朝鮮語、中国語、英語：毎週火曜日 ベトナム語、ポルトガル語：第2･4火曜日	12/20(火)	1/10(火)
国際理解のための語学講座 … 12/25 ～ 2023/1/10 までお休み		

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 40 年の歴史～

●バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書（Diploma）や、日本体手会社師会より「体手会社師」の資格認定を与えられた資格保持者でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才～ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

●健康コース：体手会社師の資格を持ったバレエ指導者（資格科学士）が健康維持を目的とした資格機能を教します。

〒562-0041 箕面市萱野 4-1-24　阪急箕面線萱野駅南徒歩（駅より 3分）
072-721-6366/721-2576　http://www.karaki-sachiko-ballet.com/

他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。
コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

セミナー
1/14（土）
14:00-16:00

アフガニスタンの子どもたちはいま

アフガニスタンで 2021 年 8 月にタリバンが権力を掌握して以来、1 年以上経過した。長年アフガニスタンの取材を続ける講師より、映像を交えながら、タリバン政権の経緯、子どもたちおよび女性たちの教育の課題や日常生活について知る。〇西谷文和（フリージャーナリスト）

場所　：国労大阪会館（大阪市北区錦町 2-2）
参加費：500 円
定員：50 名（申込先着順）
主催：NPO 法人おおさかこども多文化センター
　一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）
申込・問合せ：06-6543-7003

シンポジウム
1/14（土）
13:30-15:30

第３回　地域共生社会シンポジウム
～「子ども食堂」の活動から見えるもの～

箕面市内で、ここ数年で広く開催されるようになった「子ども食堂」。実施団体より、「子ども食堂」現場での話を聞き、参加者全員がそれぞれの立場で「できること」を考える。〇今宮こども食堂の会、豊川南小地区福祉会　あいあい子ども食堂、NPO 法人あっとすくーる、箕面市教育委員会

場所　：メイプルホール
　（箕面市箕面 5-11-23）
参加費：無料
定員：　500 名 (申込制)
主催：　社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
後援：　箕面市・箕面市教育委員会

イベント
1/18（水）
10:30-11:30

TIFA サロン
～インドネシア影絵人形芝居ワヤン・クリと伝統芸能の世界～

ワヤン・クリを始めとするインドネシア・ジャワの伝統芸能について、これまでの活動について聞く。
〇ナナン・アナント・ウィチャクソノ（人形遣い）

場所：　国際交流の会とよなか TIFA
　（豊中市本町 3-3-2）
参加費：　500 円
定員：　15 名（要申込・先着順）
主催：　国際交流の会とよなか TIFA
　06-6840-1014

交流型イベント
1/18（水）
13:30-16:30

ひきこもり UX　ラウンジ in 枚方

ひきこもり体験談を聞き、対話交流をするイベント。ひきこもりの当事者同士、ご家族同士、支援関係者がリラックスして出会う場所。
① 13:30 ～オープニング　② 14:30 ～対話交流セッション
③ 16:15 ～クロージング　非交流スペースもあり。

場所　：枚方市立総合福祉会館
　（枚方市新町 2-1-35）
参加費：無料
定員：　① 80 名②各 20 名③ 80 名
主催：　一般社団法人ひきこもり UX 会議
　https://uxkaigi.jp

イベント
1/22（日）
14:00-15:00

インドの詩と音楽

古来、インドの詩と音楽は一体となって発達してきた。季節感あふれる情景を描いた抒情詩を、文化的背景についての解説とともに鑑賞する。後半には、弦楽器サロードで花鳥風月を表現した古典曲の演奏も。
〇北田　信（大阪大学大学院人文学研究科教授）

場所：　箕面市立船場図書館
　（箕面市船場東 3-10-1）
参加費：　無料
定員：　15 名（要申込・先着順）
申込：　要（電話 072-727-1033・来館・Web）
　受付開始：1 月 5 日 9 時～

セミナー
1/28（土）
14:00 –

水平社 100 周年記念　熱と光を受けつぐわたしたち

水平社 100 周年を記念しての 5 回連続企画、最終回。
「地域と運動」わたしたちの想い　パネルディスカッション
これからの解放運動をどう考えるか、これからを担う世代へ伝えたいことなど、参加者と共に考える。〇ファシリテーター　角岡伸彦

場所：　らいとぴあ　3F ホール
　（箕面市萱野）
参加費：　無料
主催：　北芝支部、
　暮らしづくりネットワーク北芝
　箕面市人権啓発推進協議会
申込・問合せ：　072-722-7400

セミナー
2/4（土）
10:00-12:00

わたしたちの暮らしと憲法

憲法学者の清末愛砂さんを迎え、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を柱とする日本国憲法と、私たちの生活や暮らしとの関係を学ぶ。　〇清末愛砂（室蘭工業大学大学院教授）

場所　：人権平和センター豊中
　（豊中市岡町北 3-13-7）
参加費：無料
定員：　40 名（会場）
　100 名（Zoom 参加）
主催：　とよなか人権まちづくり協会
申込・問合せ：06-6841-5300
　bwz37306@nifty.com

coupe de Minami　スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？

ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう！（立体裁断）

南正枝　プロフィール（略歴）
昭和４２～４５年　フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得
昭和４５～４７年　カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和４７年以降　大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒５６２-００１２　箕面市白島2-2-３０　電話 / FAX　０７２（７２１）４１５１
E-mail　info@coupe-de-minami.com　URL　http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中！

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください！！編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください！

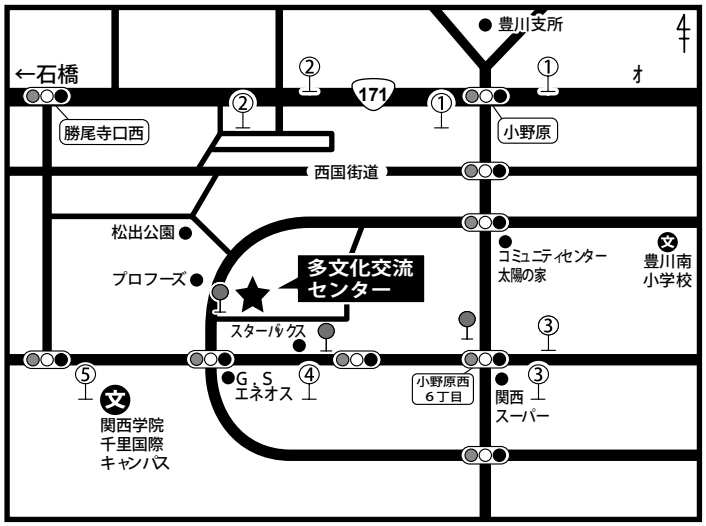
「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会や PTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいませんか。
置いてくださるお店なども大歓迎！
お問合せお待ちしています。

編集後記

最近、京都や大阪市内を歩いていると、外国からの観光客を見かけるようになってきた。特に京都市内の四条河原町の辺りなどは外国の街なのかというくらいの盛況ぶりが戻っている。京都市内在住の友人に聞いてみると、「また以前のような観光客優先はこりごり。一時はバスに乗るのにも 3 本くらいやり過ごすほど混んでいて、なかなか乗れなかった」とのこと。私の住んでいる箕面市は外国人観光客とは無縁なので、「あーいよいよコロナも世界各国で明けて自由に旅行もできるようになって良かった。」などとのんきな事を考えていたのとは正反対である。

そんな話を聞いて思い出したのは NIMBY という英語の言葉である。NIMBY とは「Not In My Backyard(我が家の裏庭にはごめん)」の略である。この言葉は観光問題とは違い、こちらは公園や保育所など公共施設が近くに立つことに地域住民が反対する人の態度や、そう主張する人たちの事をさす。普段はこれらの施設が建つことは街にとって必要だと考えている人も、いざ自分の家の近くに来ると反対してしまうのだ。もし自分が住んでいる街に大量の観光客が押し寄せ、バスや電車、街の環境が変わってしまったら私はやはり友人のようにうんざりするのだろうか。それとも快く観光客の方たちを受け入れるのだろうか。そんなことを考えさせられた。それというのも旅行が好きな身として、自分も観光客側になる事になることもあるからだ。行った街に負担をかけているとは思うことなしにのんびりと楽しく観光している。しかし現地の人の迷惑になっているのかもしれないなと、そうならないようにとわが身を振り返っているところである。（鳥羽山）

アクセスマップ



オレンジゆずるバス

- （平日・土曜）黄ルート「多文化交流センター前」
  または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- （日曜・祝日）緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
  ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出　発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、55、56 58、59、66	① 小野原
		② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西 5 丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から ＪＲ茨木方面から	92	① 小野原
		② 小野原西

「めろん」 編集スタッフ
【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷲尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：（公財）箕面市国際交流協会　〒 562-0032 箕面市小野原西 5-2-36　多文化交流センター
Tel：072-727-6912　Fax：072-727-6920　E-mail：info@mafga.or.jp
HP：www.mafga.or.jp　FB：facebook.com/Mafga　みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/